



S.Naka

THE UNICORN STAKES

第30回 ユニコーンステークス (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 37,000,000円 15,000,000円 9,300,000円 5,600,000円 3,700,000円
付加賞 483,000円 138,000円 69,000円



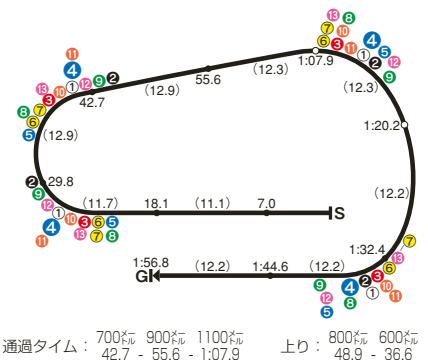
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.5.3 京都 晴・稍重 ダ1900m (国産) (指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	④	カナルビーグル	牡	3	57	吉村誠之助	1:56.8	4-4-5-4	36.3	500(+6)	6.0③	佐藤悠太(栗東)	111
2	⑧	クレーキング	牡	3	57	D.レーン	1:56.8	12-11-8-4	36.2	496(+12)	1.6①	中領英二(美浦)	110
3	⑤	メイショウズイウン	牡	3	57	武 豊	クビ	12-13-3-2	36.7	498(+14)	5.7②	本田 優(栗東)	109
4	⑩	ベリタバガス	牡	3	57	藤岡佑介	3	7-7-8-8	36.8	478(+2)	27.2⑥	森 一誠(美浦)	105
5	⑨	ヒルノハンブルク	牡	3	57	坂井瑞星	1	2-2-1-1	37.4	460(-2)	33.7⑦	武 英智(栗東)	
6	③	ナンヨーパワフル	牡	3	57	鮫島克駿	1¼	8-8-8-8	37.1	548(+8)	109.0⑪	松永幹夫(栗東)	
7	⑫	ヴィリアリート	牝	3	55	和田竜二	4	3-3-2-2	38.3	532(-6)	13.6⑤	西村真幸(栗東)	
8	⑪	テストモーネ	牡	3	57	菱田裕二	½	4-4-7-8	38.0	512(±0)	9.6④	大根田裕之(栗東)	
9	①	ベルベルコンパス	牡	3	57	北村友一	クビ	4-4-5-6	38.3	544(+2)	51.9⑨	小栗 実(栗東)	
10	⑬	チュウジョウ	牡	3	57	A.シタルケ	2	8-8-11-12	38.1	500(-4)	152.3⑫	杉山佳明(栗東)	
11	⑥	ゴッドエスパーダ	牡	3	57	角田大和	1¼	10-11-11-11	38.4	474(-6)	40.2⑧	角田晃一(栗東)	
12	②	サイモンシュバリエ	牡	3	57	川須栄彦	2	1-1-3-6	39.2	474(±0)	384.8⑬	梅田智之(栗東)	
13	⑦	スマートカイロス	牡	3	57	岩田望来	大差	10-10-11-13	43.6	518(-8)	67.3⑩	矢作芳人(栗東)	

単勝④600円(3△) 複勝④150円(3△) ⑧110円(1△) ⑤140円(2△) 枠連④-⑥230円(1△)
馬連④-⑧570円(2△) ワイド④-⑧250円(2△) ④-⑤460円(5△) ⑤-⑧220円(1△)
馬単④-⑧1,640円(5△) 3連複④-⑤-⑧910円(1△) 3連単④-⑤-⑧6,090円(11△)



アラカルト

- ・吉村誠之助騎手はユニコーンS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算2勝目
- ・佐藤悠太調教師はJRA重賞初勝利。本年開業した調教師の中で重賞勝ち一番乗り
- ・リアルスティール産駒はJRA重賞通算5勝目
- ・牡馬の勝利は12年ストローハット以降14年連続、通算28勝目

カナルビーグル *Canal Beagle*

牡 鹿毛 2022.2.10生
 北海道安平町 ノーザンファーム生産
 馬主・(有)キャロットファーム 栗東・佐藤悠太厩舎
 馬名意味・アルゼンチンとチリの間に流れている海峡。母の生産国より連想

ソブラドラインクARG系 F3-h

リアルスティール 鹿毛 2012	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	ラヴズオンリーミーUSA 鹿毛 2006	Storm Cat Monevassia
ソブラドラインクARG Sobradora Inc 鹿毛 2012	Include 鹿毛 1997	Broad Brush Illeria
	Stormy Soberly 鹿毛 2005	Bernstein Forty Sobria

5代までのインブリード：Storm Cat S3×M4 Hail to Reason S5×M5

INTERVIEW

木村浩崇 厩舎長(ノーザンファーム早来)

実戦タイプなのでしょう

動きにはリアルスティール産駒特有の硬さが感じられましたが、精神面は大人びており、気性も穏やかでした。ただ、牧場時代は決して目立った存在ではなかったです。デビュー前やユニコーンSのレース後にも、調整を行ってくれたノーザンファームしがらきの厩舎長と話す機会がありましたが、「ここまで走るとは…」と驚いていました。実戦タイプなのでしょう。

S.Suzuki



上位に離された新馬戦(3着)、馬群に包まれ、完全燃焼できなかった1勝クラス戦(4着と、2歳時は2回の敗戦を喫した本馬だが、3歳を迎えて覚醒。始動戦でワンサイドの勝利を飾り、上昇気流に乗って臨んだこの日は強敵を撃破、3月に開業した佐藤悠太調教師ともども初の勲章を獲得した。雨の影響が残る軽い馬場(稍重だったとはいえ、昨年のラムジェット(一分58秒6より1秒8も速かった勝ち時計も優秀。羽田盃を完勝したナチュラルライズとの激突が楽しみだ。

父リアルスティール

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首17戦4勝(ドバイターフ^{G1}、毎日王冠^{G2}、共同通信杯^{G3}、皐月賞^{G1}2着、菊花賞^{G1}2着、天皇賞(秋)^{G1}2着、神戸新聞杯^{G2}2着、スプリングS^{G2}2着、ドバイターフ^{G1}3着)、19年から日、豪で供用〔代表産駒〕**フォーエバーヤング**(サウジC・沙^{G1}、東京大賞典^{G1}、ジャパンダートクラシック^J_Ⅰ、全日本2歳優駿^J_Ⅰ、UAEダービー・首^{G2}、サウジダービー・沙^{G3}、JBC2歳優駿^J_Ⅲ、ケンタッキーダービー・米^{G1}3着、BCクラシック・米^{G1}3着、ドバイワールドC・^{G1}3着)、**レーベンスティール**(オールカマー^{G2}、セントライト記念^{G2}、エプソムC^{G3})、**チカッパ**(東京盃^J_Ⅱ、北海道スプリントC^J_Ⅲ、JBCスプリント^J_Ⅰ2着)、**オールバルフェ**(ディリー杯2歳S^{G2})、**カナルビーグル**(本馬)、**ヴィンセンシオ**(弥生賞ディーブインバウト記念^{G2}2着)、**ノイジーボーイ** Noisy Boy(タロックスS・豪^{G2}2着)

母ソブラドラインクARG

北米、亜9戦5勝(アルゼンチン銀杯-RVマンシリヤ大賞・亜^{G1}、エンリケアセバル大賞・亜^{G1}、フェデリコデアルベル賞・亜^{G3}、オスニタスS・米)、17年輸入

ルグランタンゴ(18 牝父ハーツクライ)中央5戦0勝、地方33戦1勝(19 牝父ドゥラメンテ)

(20 流産)

ドゥレイクバセージ(21 牝父ドゥラメンテ)中央9戦2勝(岩船特別、芙蓉S^Ⅱ3着)●

カナルビーグル 本馬(22 牝父リアルスティール)中央5戦3勝(ユニコーンS^{G3}) 獲得総賞金53,983,000円

ソフィア(23 牝父リアルスティール)

(24 牝父モーリス)

(25 牝父キズナ)

祖母ストームソベリ Stormy Soberly

アルゼンチン産 亜2勝

ソブラドラインクARG(12 前出)

アイコニック Iconic(18 牝父Fortify)智6勝

曾祖母フォーティソブリア Forty Sobria

アルゼンチン産 亜2勝、ハットソクラテス Hat Socrates(亜ジョッキークラブ大賞^{G1}2着)、**レフィナイソブリア** Refina Y Sobria(ミゲルルイスモラレス賞・亜^{G2}2着)の母、**ソシオロガイックARG**(クリアドレス大賞・亜^{G1}、亜1000ギニー大賞^{G1}、輸入繁殖牝馬)の祖母

弾けるように伸びた末脚で重賞初制覇

2年目を迎えた「3歳ダート三冠」の二冠目・東京ダービーの前哨戦と位置付けられているユニコーンSは、3頭の2勝馬が中心勢力を形成。なかでも2走前のカトレアSでナチュラルライズの2着、前走の1勝クラス戦は8馬身差で勝ち上がったクレーキングが圧倒的な支持を集め、伏竜Sでルルクソールカフェの2着に追い込んだメイシヨウズイウン、1勝クラス戦を7馬身差で圧勝したカナルビーグルがこれに続いた。結果的にも3頭は1〜3着を独占。とはいえ勝利の軍配は3番人気のカナルビーグルにあがった。

サイモンシユバリエが先導役を務めたレースは落ち着いた流れ、一団の隊列で進行。しかし向正面に差し掛かれると後方を進んでいたメイシヨウズイウンが一気に進出、2、3番手のヒルノハンプルク、ヴィリアリートも呼応して動き、残り1000m地点からペースが上がる。カナルビーグルの吉村誠之助騎手は前の動きを見定めながら4番手を追走。出遅れても先を焦らず、後方で脚を溜めていたクレーキングは3コーナーから位置を上げ、カナルビーグルの外に迫った。

蓋をされた格好で外へ持ち出せず、直線に向いながらも進路が開かなかった吉村騎手は、先に抜け出しをはかったメイシヨウズイウンの内に方向転換してスパート。弾けるように伸びたカナルビーグルが先頭に躍り出る。その脚勢は最後まで陰らず、2着は確保したクレーキングの反撃も余裕綽々と抑え込んだ。

上位に離された新馬戦(3着)、馬群に包まれ、完全燃焼できなかった1勝クラス戦(4着と、2歳時は2回の敗戦を喫した本馬だが、3歳を迎えて覚醒。始動戦でワンサイドの勝利を飾り、上昇気流に乗って臨んだこの日は強敵を撃破、3月に開業した佐藤悠太調教師ともども初の勲章を獲得した。雨の影響が残る軽い馬場(稍重だったとはいえ、昨年のラムジェット(一分58秒6より1秒8も速かった勝ち時計も優秀。羽田盃を完勝したナチュラルライズとの激突が楽しみだ。